

＼大学生が先生に！／ 東浦町・愛知工業大学・トーエイ株式会社 による産学官連携の環境教育プロジェクト

東浦町は、愛知工業大学 経営学部 経営戦略研究室の学生チームおよび町のリサイクル事業を担うトーエイ株式会社と連携し、大学生が企画・開発した教育ツールを活用した環境教育授業を実施します。

授業では、東浦町立卯ノ里小学校5年生を対象に「分別ゲーム」や「都市鉱山ゲーム」を通して、SDGs や身近なごみが資源に変わる再資源化の仕組みについて学びます。

また、地元企業であるトーエイ（株）が監修し、大学生が授業を運営することで、自治体・大学・企業が連携した地域一体の環境教育を実現します。

この授業により、子どもたちの環境意識の向上、講師を務める大学生との世代を越えた交流に繋がることを期待しています。

■授業名「SDGs とリサイクル」

- と き 2026年6月25日(木曜日) 午後1時50分～2時35分
- ところ 東浦町立卯ノ里小学校（東浦町緒川雁狭間山18）
- 対 象 卯ノ里小学校5年生 児童47名
- 講 師 愛知工業大学経営学部経営戦略研究室（羽田裕教授） 学生10名
- 監 修 トーエイ株式会社（東浦町藤江）
- 内 容

2つのテーマを用意し、児童が興味のある内容を選択して参加します。

授業の最後には、町内で排出された小型家電に含まれるプラスチックから製造した定規を児童に配布します。この定規のデザインは、大学生とトーエイ（株）の共同で作成したものです。



小型家電をリサイクルして製造した定規

【テーマ１】SDGs とガラスリサイクル

SDGs とガラスびんのリサイクルをテーマとした座学および町の分別ルールに基づいた「分別ゲーム」を実施します。児童が主体的にリサイクルについて学び、分別意識の向上を目的としたプログラムです。

【テーマ２】SDGs と小型家電リサイクル

SDGs と都市鉱山の説明を中心とした座学および小型家電に含まれる金やレアメタルの含有量を考える「都市鉱山ゲーム」を実施します。楽しみながら資源の価値や分別の重要性を学ぶことを目的としたプログラムです。

【参考：トーエイ株式会社 会社概要】

本社所在地	愛知県知多郡東浦町藤江ヤンチャ 28-1
代表者	代表取締役 社長 今津 真治
設 立	1961 年 4 月 1 日
資本金	5,000 万円
事業内容	産業廃棄物及び一般廃棄物収集運搬業・中間処理業 他



▲
トーエイ（株）
ホームページ

■問い合わせ

東浦町環境課 ☎ 0562-83-3111（内線 283・284） 担当：井高、水野